

充実した学校生活
及びさらなる飛躍



サッカー部
父母の云々云々
小関秀俊

昨年、総会と共にスタートした父母の会ですが、新入生歓迎から始まり、5月の総会、そして、一年の締めくくりである総会と無事に一年を終えることが出来ました。これもひとえにサッカー部を始め、いろいろなクラブチームの中で藤枝東高校のサッカー部がその門を叩き、

『汚名返上』



監督
服部康雄

強豪揃いで、残念ながら決勝トーナメントに進めず、今年2度目の全国大会でも結果を残せませんでした。が、目指すサッカーに間違いはない事を確信し、最後の選手権にすべてをかけてきました。県大会決勝、常葉橋に勝つと、県以上のサッカーを披露して『汚名返上』したいという思いで、超密な日程と、マスコミはじめ過酷な環境の中も、一般生徒同様に学校生活を過ごして戦っている生徒達。泣き言は通用しません。校長先生を始め学校全体、OB会、後援会、同窓会から一般市民まで、これほど応援してもらえない高校サッカー部が他にありません。

第83回
全国高校サッカー

藤枝東、無念のPK負け



藤枝東一関見 前半12分、国見の渡辺千をマークする藤枝東の原田(中央)と小関(左)＝駒場スタジアム

好機生かせず国見に屈す

手は素晴らしい。GKは、相手の高さを生かして、ゴールキーパーに狙いを絞らせた。好機を生かせず、国見に屈す。後半は藤枝東が一転して、前半からの攻勢を振り返す。後半は藤枝東が一転して、前半からの攻勢を振り返す。

焦点

手は素晴らしい。GKは、相手の高さを生かして、ゴールキーパーに狙いを絞らせた。好機を生かせず、国見に屈す。後半は藤枝東が一転して、前半からの攻勢を振り返す。



VS 佐賀東



VS 西武台



VS 国見

▲平成17年1月4日(火)付 静岡新聞



主将
増田洋平

全国大会と三年間を振り返って

も数多く御協力いただき、本当にありがとうございました。今回の選手権大会、今までの三年間を通して思ったことは、藤枝東高校はサッカーをする上で、素晴らしい環境だということ。優秀な指導者に恵まれ、トレーナーやサポートをして下さる若いOBの方々がいてくれ、遠征の時はいろいろ心配があり、そして何よりいつも応援して下さいました。方々やOBの皆さんが下さる地元の応援、全国どこを探しても見つからないと思います。僕自身は、中学まで静岡市でサッカーをやっていたのですが、藤枝市に転校してからは驚かされた。見知らぬ方が僕やチームの話をして下さり、僕らにアドバイスをして下さりました。そんな方々に感謝したいと思います。藤枝東高校でサッカーをやったことが、三年生は卒業しますが、藤枝東OBという誇りを誇りたいと思います。

第83回全国高等学校サッカー選手権大会
出場支援募金収支報告書

Table with financial data: 収入総額 35,808,079円, 支出総額 16,347,453円, 差引残額 19,460,626円.

上記のとおり報告します。平成17年2月15日 藤枝東高等学校サッカー全国大会出場支援実行委員会 委員長 横田 堯

なお、本会計は平成17年2月17日に公認会計士による監査を受けたことを御報告致します。また、残金は規程により募金管理委員会で管理することも併せて御報告いたします。

Table with financial data: 前回剰余金 20,395,480円, 収入の部 23円, 支出の部 11,539,800円, 次回繰入金 8,855,703円.

上記のとおり報告します。平成16年11月30日 藤枝東高等学校サッカー全国大会出場募金管理委員会 委員長 糸柳 格 順